

## 業種別鉱工業生産及び生産者製品在庫の動き

### 1. 鉄鋼業

4年の県内鉄鋼業の生産指数は88.2で、対前年比△8.9%と減少した。これは、鉄鉄鑄物等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期94.7（対前期比1.0%減）、4～6月期89.4（同5.7%減）、7～9月期82.4（同7.8%減）、10～12月期86.6（同5.1%増）であった。

一方、在庫指数の年平均は87.9で、対前年比35.1%と増加した。これを四半期別にみると、1～3月期81.7（対前期比9.2%減）、4～6月期87.5（同7.1%増）、7～9月期90.7（同3.7%減）、10～12月期91.6（同1.0%増）と増減を繰り返した。

### 2. 非鉄金属工業

4年の県内非鉄金属工業の生産指数は105.6で、対前年比0.4%と増加した。これは、光ファイバーケーブル等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期105.5（対前期比3.9%増）、4～6月期105.9（同0.3%増）、7～9月期103.3（同2.4%減）、10～12月期106.5（同3.1%増）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は153.6で、対前年比47.0%と増加した。これを四半期別にみると、1～3月期104.6（対前期比2.1%減）、4～6月期175.3（同67.6%増）、7～9月期は170.6（同2.7%減）、10～12月期は165.6（同2.9%減）と増減を繰り返した。

### 3. 金属製品工業

4年の県内金属製品工業の生産指数は95.7で、対前年比1.9%と増加した。これは、橋りょう等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期90.5（対前期比1.0%減）、4～6月期89.4（同1.3%減）、7～9月期111.9（同25.2%増）、10～12月期91.2（同18.5%減）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は156.7で、対前年比△12.0%と減少した。これを四半期別にみると、1～3月期124.9（対前期比37.9%減）、4～6月期142.1（同13.8%増）、7～9月期175.3（同23.4%増）、10～12月期191.8（同9.4%増）であった。

### 4. 機械工業

4年の県内機械工業の生産指数は、89.4で対前年比△9.7%と減少した。また、在庫指数は、78.6で対前年比△7.0%と減少した。

#### 4-1 一般機械工業

4年の県内一般機械工業の生産指数は86.1で、対前年比△10.6%減少した。これは、ダイヤモンド工具等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期92.3（対前期比3.7%減）、4～6月期85.6（同7.3%減）、7～9月期79.1（同7.5%減）、10～12月期は87.8（同11.0%増）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は84.8で、対前年比△2.6%と減少した。これを四半期別にみると、1～3月期82.4（対前期比3.6%増）、4～6月期104.6（同27.0%増）、7～9月期84.6（同19.1%減）、10～12月期72.7（同14.1%減）であった。

#### 4-2 電気機械工業

4年の県内電気機械工業の生産指数は84.5で、対前年比△14.7%と減少した。これは、三相誘導電動機、配線器具等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期90.9（対前期比0.6%増）、4～6月期83.3（同8.4%減）、7～9月期82.7（同0.7%減）、10～12月期81.2（同1.8%減）であった。

一方、在庫指数の年平均は70.1で、対前年比29.6%と増加した。これを四半期別にみると、1～3月期67.8（対前期比21.4%減）、4～6月期84.3（同24.3%増）、7～9月期67.1（同20.5%減）、10～12月期61.3（同8.6%減）と増減を繰り返した。

#### 4-3 輸送機械工業

4年の県内輸送機械工業の生産指数は93.7で、対前年比△6.2%と減少した。これを四半期別に推移をみると、1～3月期91.0（対前期比8.8%減）、4～6月期94.0（同3.3%増）、7～9月期94.6（同0.7%増）、10～12月期94.9（同0.2%増）であった。

一方、在庫指数の年平均は80.3で、対前年比△23.7%と減少した。これを四半期別にみると、1～3月期99.1（対前期比10.8%減）、4～6月期81.1（同18.1%減）、7～9月期87.3（同7.7%増）、10～12月期61.7（同29.4%減）と増減を繰り返した。

#### 5. 窯業・土石製品工業

4年の県内窯業・土石製品工業の生産指数は86.9で、対前年比△5.8%と減少した。これは、陶磁器タイル等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期88.6（対前期比1.0%増）、4～6月期84.3（同4.9%減）、7～9月期92.1（同9.3%増）、10～12月期82.8（同10.1%減）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は96.7で、対前年比△14.6%と減少した。これを四半期別にみると1～3月期93.9（対前期比12.3%減）、4～6月期97.5（同3.9%増）、7～9月期98.5（同1.0%増）、10～12月期97.0（同1.5%減）と増減を繰り返した。

#### 6. 化学工業

4年の県内化学工業の生産指数は93.9で、対前年比△5.5%と減少した。これは、医薬品、エチレン等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期94.5（対前期比3.2%減）、4～6月期96.6（同2.3%増）、7～9月期92.1（同4.7%減）、10～12月期92.3（同0.2%増）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は116.2で、対前年比△2.2%と減少した。これを四半期別にみると、1～3月期113.9（対前期比5.2%減）、4～6月期115.5（同1.4%増）、7～9月期118.7（同2.8%増）、10～12月期117.4（同1.1%減）と増減を繰り返した。

#### 7. 石油・石炭製品工業

4年の県内石油・石炭製品工業の生産指数は108.7で、対前年比7.1%と増加した。これは、灯油等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期108.6（対前期比0.7%増）、4～6月期113.0（同4.1%増）、7～9月期114.0（同0.8%増）、10～12月期100.5（同11.8%減）であった。

一方、在庫指数の年平均は103.0で、対前年比6.9%と増加した。これを四半期別にみると、1～3月期98.2（対前期比8.3%増）、4～6月期107.4（同9.4%増）、7～9月期107.6（同0.2%増）、10～12月期98.2（同8.7%減）であった。

#### 8. プラスチック製品工業

4年の県内プラスチック製品工業の生産指数は98.0で、対前年比0.3%と増加した。四半期別に推移をみると、1～3月期95.4（対前期比1.6%減）、4～6月期98.2（同2.9%増）、7～9月期100.4（同2.3%増）、10～12月期97.9（同2.5%減）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は130.8で、対前年比5.9%と増加した。これを四半期別にみると、1～3月期123.0（対前期比10.0%減）、4～6月期123.8（同0.7%増）、7～9月期131.6（同6.3%増）、10～12月期145.5（同10.5%増）であった。

### 9. パルプ・紙・紙加工品工業

4年の県内パルプ・紙・紙加工品工業の生産指数は97.9で、対前年比△1.7%と減少した。これは、包装用紙等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期98.8(対前期比1.3%減)、4～6月期97.3(同1.5%減)、7～9月期95.8(同1.5%減)、10～12月期99.7(同4.1%増)であった。

一方、在庫指数の年平均は94.8で、対前年比△8.5%と減少した。これを四半期別にみると1～3月期96.5(対前期比5.9%減)、4～6月期94.8(同1.7%減)、7～9月期92.0(同3.0%減)、10～12月期95.7(同4.1%増)であった。

### 10. 繊維工業

4年の県内繊維工業の生産指数は100.1で、対前年比△0.8%と減少した。これは、漁網等が減少したためである。四半期別にみると、1～3月期104.8(対前期比2.4%増)、4～6月期100.3(同4.3%減)、7～9月期100.5(同0.3%増)、10～12月期95.4(同5.1%減)と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は101.5で、対前年比4.3%と増加した。これを四半期別にみると1～3月期98.6(対前期比3.1%増)、4～6月期100.9(同0.5%増)、7～9月期105.5(同6.4%増)、10～12月期103.2(同2.2%減)であった。

### 11. 食料品工業

4年の県内食料品工業の生産指数は99.8で、対前年比△0.4%と減少した。これは、イノシンサンソーダ等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期96.7(対前期比4.7%減)、4～6月期99.9(同3.3%増)、7～9月期105.4(同5.6%増)、10～12月期97.6%(同7.4%減)と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は131.2で、対前年比9.6%と増加した。これを四半期別にみると1～3月期109.6(対前期比11.6%減)、4～6月期103.3(同5.8%減)、7～9月期122.4(同18.5%増)、10月～12月期111.9(同8.6%減)と増減を繰り返した。

### 12. その他工業

4年の県内その他工業の生産指数は106.0で、対前年比1.3%と増加した。各業種の対前年比をみると、ゴム製品工業4.4%、家具工業△9.8%、木材・木製品工業△4.9%、その他製品工業7.7%であった。四半期別に推移をみると、1～3月期107.0(対前期比5.4%減)、4～6月期101.6(同5.0%減)、7～9月期110.8(同9.1%増)、10～12月期105.2(同5.1%減)と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は102.2で、対前年比△6.9%と減少した。各業種の対前年比をみると、ゴム製品工業が8.9%、家具工業△33.6%、木材・木製品工業1.4%であった。これを四半期別にみると、1～3月期156.1(対前期比11.1%増)、4～6月期159.6(同2.2%増)、7～9月期181.2(同13.5%増)、10～12月期169.7(同6.3%減)であった。

### 13. 鉱業

4年の県内鉱業生産指数は88.0で、対前年比△9.7%と減少した。これは、かんらん岩等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期90.3(対前期比3.6%減)、4～6月期89.7(同0.7%減)、7～9月期93.8(同4.6%増)、10～12月期79.6(同15.2%減)と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は95.1で、対前年比△9.5%と減少した。これを四半期別にみると、1～3月期94.5(対前期比12.0%減)、4～6月期93.2(同1.3%減)、7～9月期97.9(同5.0%増)、10～12月期は94.4(同3.6%減)と増減を繰り返した。

14. 公益事業 (参考)

4年の県内公益事業の生産指数は105.9で、対前年比△0.4%と減少した。これを四半期別に推移をみると、1～3月期120.8 (対前期比21.5%増)、4～6月期93.1 (同22.9%減)、7～9月期105.7 (同13.5%増)、10～12月期104.1 (同1.5%減)と増減を繰り返した。

表18 4年業種別四半期別・対前期増減率

	生産指数・対前期増減率 (%)				在庫指数・対前期増減率 (%)			
	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期
鉱工業	△2.9	△1.5	2.1	△3.5	△4.1	6.6	4.5	△9.1
製造工業	△2.9	△1.6	2.2	△3.5	△4.1	6.6	4.5	△9.1
鉄鋼業	△1.0	△5.7	△7.8	5.1	9.2	7.1	3.7	1.0
非鉄金属工業	3.9	0.3	△2.4	3.1	△2.1	67.6	△2.7	△2.9
金属製品工業	△1.0	△1.3	25.2	△18.5	△37.9	13.8	23.4	9.4
機械工業	△5.5	△2.2	△0.8	1.3	△4.9	7.8	△9.9	△21.3
一般機械工業	△3.7	△7.3	△7.5	11.0	3.6	27.0	△19.1	△14.1
電気機械工業	0.6	△8.4	△0.7	△1.8	21.4	24.3	△20.5	△8.6
輸送機械工業	△8.8	3.3	0.7	2.3	△10.8	△18.1	7.7	△29.3
窯業・土石製品工業	1.0	△4.9	9.3	△10.1	△12.3	3.9	1.0	△1.5
化学工業	△3.2	2.3	△4.7	0.2	△5.2	1.4	2.8	△1.1
石油・石炭製品工業	0.7	4.1	0.8	△11.8	8.3	9.4	0.2	△8.7
プラスチック製品工業	△1.6	2.9	2.3	△2.5	△10.0	0.7	6.3	10.5
パルプ・紙・紙加工品工業	△1.3	△1.5	△1.5	4.1	△5.9	△1.7	△3.0	4.1
繊維工業	2.4	△4.3	0.3	△5.1	3.1	0.5	6.4	△2.2
食料品工業	△4.7	3.3	5.6	△7.4	△11.6	△5.8	18.5	△8.6
その他工業	△5.4	△5.0	9.1	△5.1	11.1	2.2	13.5	△6.3
鉱業	△3.6	△0.7	4.6	△15.2	△12.0	△1.3	5.0	△3.6
非金属鉱業	△3.6	△0.7	4.6	△15.2	△12.0	△1.3	5.0	△3.6
公益事業	21.5	△22.9	13.5	△1.5				
産業総合	△1.8	△2.7	2.6	△3.3	△4.1	6.6	4.5	△9.1